

第Ⅷ章 運営・体制の整備

第1節 運営・体制の整備の方向性

福山城跡の管理に当たり、文化庁、広島県教育委員会の指導・助言のもと、史跡の保存管理に関する事務及び史跡内の歴史的建造物（重要文化財等指定・登録文化財）の保存管理については、文化財課が担当している。一方、福山城公園の維持管理については、公園緑地課が担当しており、樹木管理や緑化及び園路の整備を連携して行っている。なお、史跡内に所在する施設の管理運営については文化振興課が担当している。また、史跡内には国有地や神社所有地がある。こうした関係者・関係機関同士が史跡の保存管理及び整備活用において密接な連携を相互にとることができる体制を整備する必要がある。

福山城跡の現在までの経緯と対応・分析を踏まえながら、適切な保存と公開・活用を進めていくには、「史跡保護」を最重要事項として位置づけ、市民や関係機関との連携や協力を図り、魅力ある史跡として後世に伝えるため、将来に向けた体制整備が不可欠であり、そのための方向性を以下に示す。

- 史跡の確実な保存、整備を計画的かつ効果的に推進するための体制の検討及びそれに基づく活用を継続して行うために、十分な体制の確保を図る。
- 日常の維持管理、調査研究、保存、活用、整備を着実に推進するための体制を整える。
- 文化財部局のみならず、まちづくり推進部、文化観光振興部、都市部、環境部など、福山城跡に関係する福山市の様々な部局間の相互連携を強化するとともに、整備に向けた組織づくり、人材確保等についての検討を行う。
- 市民との連携を強化し円滑な史跡の保存・公開・活用を進めるため、「福山城博物館友の会」などの市民団体を中心に、市民に福山城跡を保護し活用する取組への参加を呼びかけるとともに、福山城跡を地域の誇りとするための情報発信や人材育成を進める。

第2節 運営・体制の整備の方法

(1) 管理者・管理団体

史跡福山城跡の土地所有は、本丸部分を財務省（旧大蔵省）と文部科学省（旧文部省）、二之丸の大部分を福山市が所有し、二之丸北端部を三蔵稲荷神社が所有している。具体的には「土地・建物等の所有者としての管理」及び「文化財としての管理」に加えて、「公園としての管理」が重層的に発生することから、それぞれの「管理」における各管理主体の責任や役割を整理した上で役割分担等の調整を行い、効果・効率的な管理運営の実現を図ることが必要である。当面は、これまでのように福山市と民間所有者が連携しながら管理していくこととするが、将来的には福山市と国の機関、民間所有者が協議し、管理団体（福山市）の指定に向けて取り組む。

(2) 日常的な維持管理、保存、公開に関する運営・体制の整備

日常的な維持管理・公開については、現在の体制を当面維持するが、運営・体制は、史跡としての保存・活用・公開を行う文化財課と、都市公園としての維持管理を行う公園緑地課、更に福山城博物館などの施設管理は文化振興課であり、その運営は指定管理者制度により外部に委託されている。日頃からの連絡を密にし、互いに考え方に齟齬が生じないように、関係者間の連携に努めることが大切である。

(3) 整備事業に関する運営・体制の整備

整備事業の推進に当たっては、適切な推進体制の確立が必要である。また、今後必ず生じてくる石垣修理等は、長期的な展望のもとに継続的に取り組む必要があり、計画的に実施できるよう建設部局と文化財部局の一体的な組織体制を検討し、整備する必要がある。

(4) 運営・体制整備に向けて

福山城跡の適正な保存・活用を進めていくには「史跡の保護」を最重要事項として位置付け、市民や関係機関との連携を図り、魅力ある史跡として保存・活用を進めるための将来に向けた体制整備が不可欠である。体制整備の基本的な考え方を次に示す。

① 行政内部における体制の確立

- ・ 城跡の保存・活用・整備は、まちづくり、観光、自然環境、防災などに関連するため、関連部局間の連携を強化し、十分な検討・調整を図ることができる体制を確立し、事業の円滑な推進を図る。
- ・ 城跡を適切に保存・活用していくためには、継続的な調査研究が必要であり、文化財専門職員等の人材を確保するとともに、城郭や石垣に関する研究会・協議会等への参加を通じて、職員の資質向上に努める。

② 関係機関との連携を強化

- ・ 史跡の保存・活用・整備は専門的な側面を有するため、専門家や有識者による検討委員会を設置し、保護の方向性や手法等を検討する。

③ 市民との連携を強化

- ・ 福山城博物館友の会は、ボランティアガイドとして博物館の活動を支援しながら、福山の歴史と文化に関する資料（美術工芸・民俗・文書記録類）を収集し研究するとともに、講演会、体験学習などの開催・参加、史跡めぐり、名城めぐり等のイベント開催を行っている。福山城跡の保存・活用において欠かせない存在であり、今後も協働に努める。
- ・ 福山城跡の保存・活用においては、歴史や文化財に関心のある団体だけでなく、多様な団体との連携が重要である。特に活用面においては、各種団体との協働による活用を図り、市民や観光客に、福山城が福山市の成り立ちや特色を示す中心的存在であることが認識されるよう努める。